

「学び合い・教え合い・励まし合い」を大切にしたい ～運動好きな子どもの育成～

大分県杵築市立杵築小学校

全校児童数	514名(男子265名 女子249名)		
全クラス数	20	教職員数	45名
体育専科教員訪問学校数			1校
訪問校	杵築市立八坂小学校		
体育専科教員名			糸長 啓二

Plan：取組時の課題と計画

1 取組時の課題

- ◇全体的に体力は向上してきているが、学年や男女、調査項目別によっては課題（体力差）がみられる。
- ◇昨年度の体力・運動能力の調査から「シャトルラン」「上体おこし」「ボール投げ」に課題がある。
- ◇休み時間に外で遊ぶ子どもは多いが、固定されている。
- ◇全体的には運動好きな子どもは多いが、学年や男女によっては差がみられる。

2 取組の計画

- ① 体育授業、体育活動の充実
 - ・運動好きな子どもの育成をめざした授業の工夫
 - ・授業前のサーキットトレーニングの実施と準備運動後の補助運動の実施
 - ・授業のパターン化、児童の主体的な学習、場の設定と工夫（運動量の確保）
 - ・学級（クラスルームトレーニング）、児童会活動や委員会活動（体育活動や遊び、レク活動）の活用
- ② 体育環境の充実
 - ・運動場や体育館の整備及び各倉庫の整理
 - ・用具の点検、作成、補充
 - ・掲示による意識化
- ③ 基本的な生活習慣の確立
 - ・早寝、早起き、朝ご飯の推進と生活リズムチェックの実施

Do：実践内容

1 体育授業、行事、体力向上等の取組の充実

- ・学級担任とのTT指導できめ細やかで個に応じた効果的な指導、そして、安全面の配慮（運動の苦手な子どもや支援の必要な子ども）
- ・授業のパターン化による見通しをもった学習と主体的な学習（運動量の確保）
- ・学期に1回検証を行い、共通理解を図る
- ・子どもの実態に応じた教材や場の工夫
- ・全体練習と課題別練習
- ・单元ごと主運動につながる補助運動の実施
- ・子どもたちの「学び合い・教え合い・励まし合い」の時間や場の設定
- ・なわとび週間、なわとび大会の開催（健康推進部）
- ・クラスルームトレーニングの取組
- ・児童会や体育委員会活動の取組（運動遊び週間、なかよし班活動、チャレンジランニング集会等の設定）

2 体育環境の充実

- ・運動場や砂場の整備、体育館や体育倉庫の用具整理整頓、点検、補充
- ・サーキットトレーニングの内容表示
- ・教材教具の工夫、作成
- ・体育授業で使用する用具、器具の準備、片付け

3 基本的な生活習慣の確立

- ・「早寝早起き」の指導の継続と徹底と食育授業の実施
- ・生活リズムチェックの実施（健康推進部）

●工夫したこと（&苦労した点）

- ① コロナ禍をふまえた体育授業をより楽しいものにする工夫として、用具の工夫や場の設定などを中心として授業改善を図った。
- ② 肯定的な言葉かけを心がけた。
- ③ ICTの活用等、運動のポイントとふり返りの確認に活用した。
- ④ 訪問校において、事前の授業内容の確認、授業後のふり返りと次時の授業内容等の打ち合わせを行った。
- ⑤ コロナ禍を受けて、運動会にかわり「体育発表会」を実施した。

Check：取組の成果

- ① 授業をパターン化することにより、子どもたちが授業の流れを把握し、見通しをもって主体的に取り組むことができ、運動量の確保と自主性が育っている。
- ② TT体制の指導により、一人ひとりにきめ細やかな指導、また、場の設定（スムーズな用具の準備、片付け等）が図られている。
- ③ 少人数指導、課題別指導を行うことができ、技能や体力の向上、そして、意欲の向上につながっている。

Action：今後の課題

- ① コロナ禍をふまえた運動面や健康面を考えた取組について更なる工夫が必要である。
- ② TT指導の効果的な指導、役割分担のあり方はどうあるべきかを今後も工夫していきたい。
- ③ 担任との話し合い（打ち合わせ）時間の確保が必要。

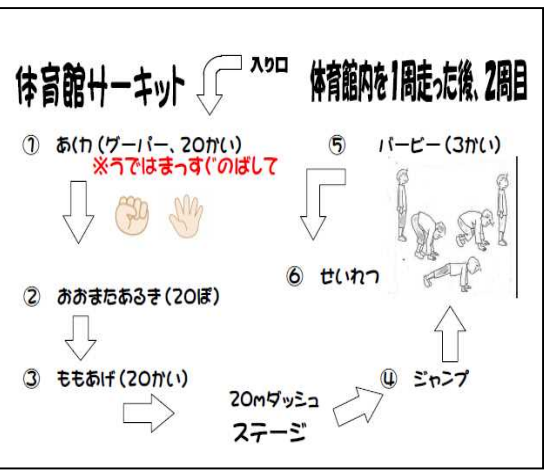
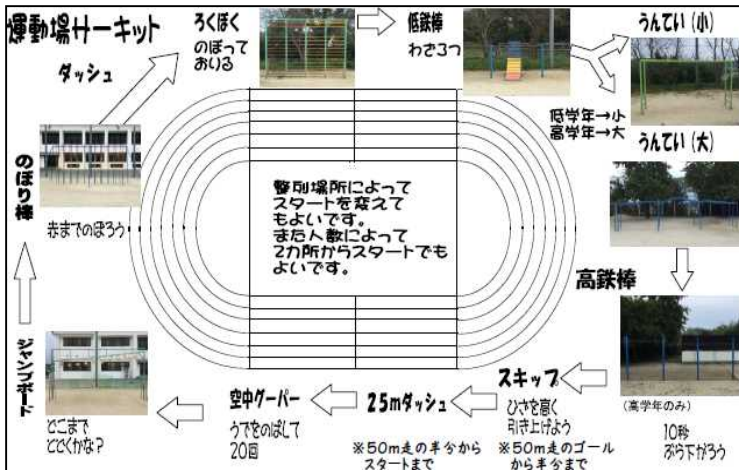
◎体力向上の取組がもたらす波及効果

- ・健康な体、元気でやる気に満ちた児童の育成
- ・運動の楽しさを知り、達成感を味わい、自信をもって頑張ろうとする児童の育成
- ・コミュニケーションを図り、協力する児童の育成
- ・規律、節度をもった児童の育成

〈 授業前のサーキットトレーニング 〉

(運動場でのサーキット)

(体育館でのサーキット)



〈 実践事例 〉

(公開授業)

○期日 令和2年11月16日(月) 第1回公開授業 第5学年「陸上運動：ハードル走」

①指導法の工夫(教材、場の工夫等)

- ・学び合い、教え合い学習 → 「リズム(3歩または5歩を基本)」「ふみきり位置と着地位置」「姿勢(上体の前傾)」を中心に見合う。
- ・4コース設定 → インターバル 5m 5.5m 6m 6.5mの4コース
- ・ハードル、トレーニングハードル。ゴムひもハードルを使用

②課題別練習(自分の課題にあったハードルドリル → A・B・C・Dの4コース)

- A: ハードルのまたぎこし感覚の習得 B: 1歩ハードルによるふりあげ足の着地、ぬき足のひきつける練習 C: 1台目のハードルのはいり D: ミニハードルによるリズムの習得

③ICTの活用

- ・活動Iでの課題別練習を生かし、ポイントを意識してハードル走をしているか確認
- ・班ごとに確認しながらアドバイス



○期日 令和3年1月29日(金) 第2回公開授業 第6学年「体づくり運動：体力を高める運動」

①指導法の工夫

- ・リズムに合わせたリズムカルな運動(動き)
- ・班を中心とした学習(活動I→活動II)
- ・学び合いを中心とした学習

②ICTの活用

- ・リズムカルな動き、バランス、動きのタイミング等の確認

(なわとびタイム期間・なわとび大会)

○期間 令和3年1月18日(月)～1月22日(金) (なわとびタイム期間) 全校(中休みに実施)

令和3年1月25日(月)～1月29日(金) (なわとび大会期間) 各学年で実施

①なわとびタイムは、曲にあわせて、リズムとびをする。(技11、各学年で選択しても可)

②なわとび大会は、各学年で大会期間中に実施する。